

2008年度 第1四半期決算説明会



2008年8月1日(金)
日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、将来に対する見通しが含まれていることがあります。しかし、実際の業績はさまざまな状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。

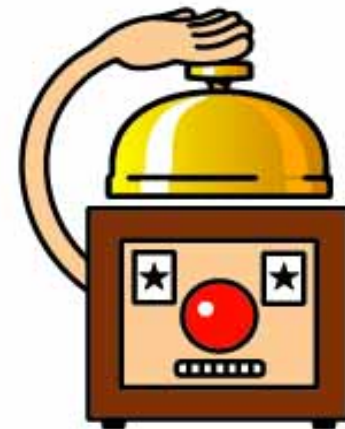


決算業績	P	5
損益計算書	P	6
放送収入	P	7
事業収入	P	8
番組制作費	P	9
2008 年度業績予想	P	10
今後の戦略と取り組み	P	17
営業方針	P	19
編成戦略	P	21
今後の主な映画ラインナップ	P	29

第1四半期決算概況 および 2008年度業績見通し

代表取締役
会長執行役員

細川 知正



決算業績

連結決算

- 単体の減収減益に加え、グループ会社全体でも減収減益となった

単体決算

- スポット収入が苦戦し、放送収入が減少
- 番組改編の影響や、55年特番などにより、番組制作費が増加した

損益計算書

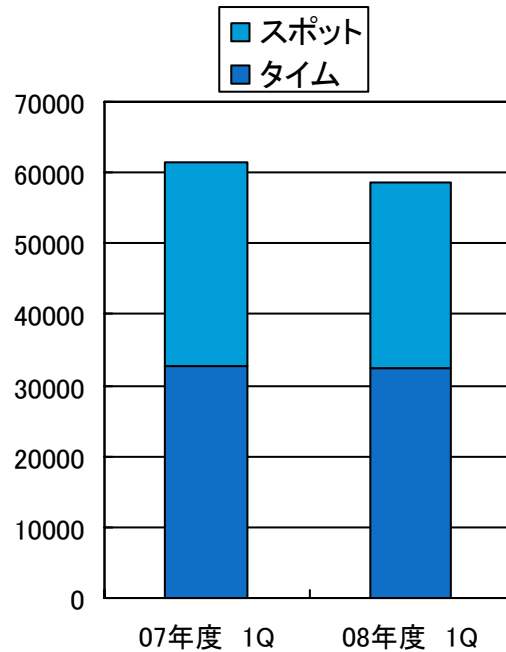
(単位:百万円)

連結	2007年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	伸率(%)
売上高	84,274	80,252	△4.8
営業利益	7,530	2,874	△61.8
経常利益	8,901	4,004	△55.0
当期純利益	5,054	1,505	△70.2

単体	2007年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	伸率(%)
売上高	72,012	69,373	△3.7
営業利益	5,795	1,886	△67.4
経常利益	6,713	3,062	△54.4
当期純利益	4,024	1,299	△67.7

放送収入(単体)

(単位:百万円)



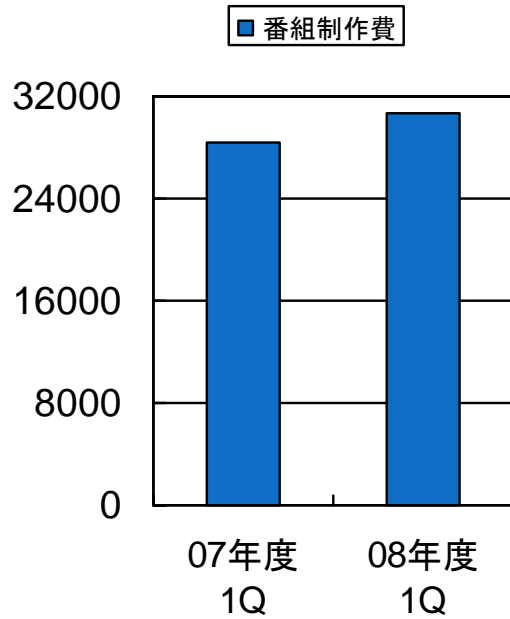
	2007年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	比較	伸率(%)
放送収入合計	61,441	58,680	△2,760	△4.5
タイム	32,625	32,455	△170	△0.5
スポット	28,815	26,225	△2,590	△9.0

事業収入(単体)

(単位:百万円)

事業種別		2008年度 第1四半期	伸率(%)
イベント	イベント	1,263	79.6
TV	BS・CS・CATV他	1,298	13.8
コンテンツ	ライツ	481	0.4
	海外番販	342	△26.6
	通販	1,399	△24.9
	出版	184	△7.5
	映画	1,971	0.0
	その他	97	△63.0
合計		7,035	△0.7

番組制作費(単体・管理ベース)



(単位:百万円)

	2007年度 第1四半期	2008年度 第1四半期	比較	伸率(%)
番組制作費	28,307	30,641	2,333	8.2

2008年度業績および配当の修正

(単位:百万円)

連結	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	166,500	2,900	4,800	1,700
(前回予想)	171,500	6,700	8,800	4,500
通期	338,400	13,400	16,600	8,500
(前回予想)	346,000	21,700	25,300	13,700

単体	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期	140,100	400	2,200	700
(前回予想)	145,700	3,500	5,300	3,000
通期	286,900	7,700	10,500	5,500
(前回予想)	295,000	14,700	17,500	10,000

業績修正の前提と配当

前提	前年比	上期	下期	通期
タイム		0.3%	△3.2%	△1.5%
(前回予想)		2.5%	△1.0%	0.7%
スポット		△8.9%	△3.6%	△6.2%
(前回予想)		△1.0%	△1.0%	△1.0%
制作費		6.9%	△2.5%	2.1%
(前回予想)		9.2%	△4.5%	2.3%

*制作費は単体管理ベースのものです

(単位:円)

配当	中間	期末	年間
2008年度	90	90	180
(前回予想)	90	110	200
(参考)2007年度実績	75	105	180

*2007年度期末配当は 記念配当30円を含む

セグメント別予想

(単位:百万円)

通期	テレビ放送事業	文化事業	その他の事業	消去又は全社	連結
売上高	254,000	78,600	16,800	△11,000	338,400
営業利益	20,300	5,300	2,400	△14,600	13,400

中間期	テレビ放送事業	文化事業	その他の事業	消去又は全社	連結
売上高	124,00	39,500	8,500	△5,500	166,500
営業利益	6,400	2,900	900	△7,300	2,900

設備投資額と減価償却費について

(単位:億円)

〈連結ベース〉	設備投資額	減価償却費
2008年度	82	116

(単位:億円)

〈単体ベース〉	設備投資額	減価償却費
2008年度	74	105
2009年度	95	101
2010年度	87	107
2011年度	75	103
2012年度	84	102

・5月に開示したのものから変更ありません

[決算関連補足資料]



セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

		テレビ放送事業	文化事業	その他の事業	合計	消去 又は全社	連結
主な連結子会社		<ul style="list-style-type: none"> ・日テレグループHD ・NiTRo ・AX-ON ・日テレアート 	<ul style="list-style-type: none"> ・日テレイベント ・日本テレビ音楽 ・ハップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本テレビサービス ・日本テレビワーク24 ・日本テレビフットボールクラブ ・フォアキャストコミュニケーションズ 			
売上高	2008年度 第1四半期	63,717	14,835	4,009	82,562	△2,310	80,252
	2007年度 第1四半期	66,433	16,624	3,541	86,599	△2,325	84,274
	前年比	△2,716	△1,788	468	△4,036	14	△4,022
営業利益	2008年度 第1四半期	4,897	981	450	6,329	△3,455	2,874
	2007年度 第1四半期	9,004	1,286	462	10,754	△3,223	7,530
	前年比	△4,107	△304	△12	△4,424	△231	△4,656

業種別スポット売上順位

	2008年度第1四半期	シェア	伸率(%)	2007年度第1四半期	シェア	伸率(%)
1	化粧品・トイレタリー	10.0	△ 3.1	化粧品・トイレタリー	9.4	△ 5.5
2	非アルコール飲料	8.6	△ 11.0	非アルコール飲料	8.8	△ 7.5
3	アルコール飲料	8.4	△ 6.0	アルコール飲料	8.1	△ 0.9
4	電気機器	8.2	△ 5.0	電気機器	7.9	△ 15.9
5	薬品	7.6	4.5	運輸・通信	6.8	0.3
6	輸送機器	7.1	△ 1.2	薬品	6.6	3.0
7	運輸・通信	7.0	△ 6.1	輸送機器	6.6	△ 15.9
8	サービス	5.0	3.6	食品<乳製品調味料>	4.8	0.1
9	食品その他	4.8	0.4	サービス	4.4	24.6
10	食品<乳製品調味料>	4.6	△ 12.2	食品その他	4.3	23.6
	その他	28.7	△ 19.3	その他	32.3	12.3
	合計	100		合計	100	

今後の戦略と取り組み

代表取締役
社長執行役員

久保 伸太郎



55 収益力向上に向けた取組

厳しい競争環境下で、コストコントロール力を高めるとともに、一層の収益力を向上させる構造改革へ向けた取組をすすめる

コアターゲット視聴率UPを目指し、セールスに結びつく番組制作



収益性を重視したコンテンツ制作

★コスト構造の抜本的改革

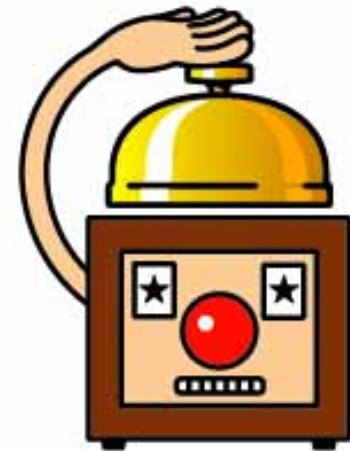
★収入獲得への多様な展開

オリジナル発明品コンテンツ制作の一層の強化

営業方針

取締役 常務執行役員
営業担当

弘中喜通



営業方針

知力勝負

- スポンサーニーズに応える企業提案力
- 編成・制作部門と連携した営業企画

体力勝負

- 厳しい放送収入の環境下で、シェアアップを図る
- フットワークを駆使し、営業マンの地道な努力を推進

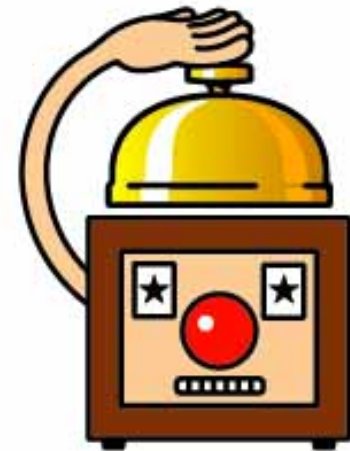
クロスメディア展開も含む提案型営業

- 第2日テレの-spinオフ
- 第2日テレのクライアントタイアップ企画(「オキナワ男 逃げた」など)

編成戦略

取締役 執行役員
編成担当

室川 治久



編成戦略

1. 制作工程の改善

2. 制作費の選択と集中

3. ハイクオリティ・コンテンツの制作

4. 柔軟な編成戦略

[編成・コンテンツ関連 補足資料]



2008年10月期改編の具体的内容 ＜プライム帯＞

①週前半の強化

- 日本テレビの現在のプライムタイムは、「世界一受けたい授業」「土曜ドラマ」「エンタの神様」「鉄腕DASH」「行列のできる法律相談所」など週末型。週前半の強化は前回の改編からの課題
- 月曜21時「1分間の深イイ話」が成功。それに続く、22時台の強化を目指し、新番組「しゃべくり007」を編成。くりむしちゅー・ネプチューン・チュートリアルという新鮮な座組みでのスタジオトーク番組
- 火曜21時には、「行列」「深イイ話」などを担当するエースディレクターを投入し、新たな音楽バラエティ番組「誰も知らない泣ける歌」を編成。ドラマへの流れを強化

②ドラマのターゲット戦略

- 火曜 T・F1・2中心としたエンタテイメント、10月はハートフルなストーリー予定
- 水曜 F1・2がメインターゲット、女性の生き方シリーズ、10月は中園ミホ作品
- 土曜 C・T・F1・2中心に家族で楽しめるエンタテイメント、10月は学園モノ

③ハイスピード&ハイクオリティ

- ウラ環境の変化に即刻対応し、「金曜ロードショー」前のミニ枠廃止、「天才！志村どうぶつ園」の枠切り・フォーマット変更を実施

2008年10月期改編の具体的内容

<全日帯>

①平日ベルト編成の再構築

- 平日午後ベルトをYTV制作「ミヤネ屋」+ドラマ(再)に改編→コンテンツのマルチユース、系列局制作力の活用による効率化が図れ、スポットニーズにも合致した編成

②日曜午前中編成の再構築

- 長寿番組「ザ・サンデー」「波瀾万丈」の改編・新企画投入により、コアターゲットの獲得できるゾーンへと移行

③土日夕テ編成の活性化

- 報道(「ZERO」他)・情報(「ズームインSUPER」他)番組の人気コーナーを再編集し、土日夕テでOA→有料コンテンツのマルチユースと番組のブランド化
- プライム帯の番組を再放送することによる、リーチの拡大、PR効果
- 「サタデーバリュー」単発枠や、2・3ヶ月ごとに新企画を試す土曜夕方枠で、次世代コンテンツの開発を積極的にトライ
- 通販事業部制作「お取り寄せ特番」は、視聴率・スポット収入・通販収入拡大に寄与

④土日スポーツニュース

- 「スーパーうるぐす」に新MC堀尾キャスターが加わり、江川さんもパワーアップ

開局55年番組

<ドラマ>

- 連続ドラマ「ごくせん」は全11話平均22.8%で、4月期ドラマ視聴率NO.1
- 単発ドラマは「東京大空襲」「カウラ捕虜収容所からの大脱走」などを放送、今後も「阿久悠ドラマ」「霧の火～北のひめゆり～」など大型作品を予定

<ドキュメンタリー・カルチャー>

- 「歴史大河4時間スペシャル」「女たちの中国」「エジプトスペシャル」「ローマスペシャル」大型科学特番など、クオリティの高い作品を多数ラインナップ

<バラエティ>

- 「行列プレゼンツ カンボジアに学校を作ろうプロジェクト」他多数

<報道>

- 「日本を動かすプロジェクト ACTION」・・・1年間を通じ、報道系全ての番組が連動した取り組み、年末に総決算スペシャルを予定

<スポーツ>

- 「女子レスリング世界選手権」「TOYOTAプレゼンツ FIFAクラブW杯」

視聴率状況

2008年 年間平均視聴率 (2007/12/31-2008/7/20)

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	8.3	7.4	8.6	7.7	3.7	43.2
昨年同期	8.3	7.7	8.7	7.6	3.8	43.0
プライム	12.5	11.3	13.6	11.9	7.7	64.6
昨年同期	12.2	12.2	13.6	12.1	7.8	64.7
ゴールデン	12.3	11.4	13.7	11.1	8.1	66.1
昨年同期	12.1	12.2	13.6	11.2	8.3	65.6
ノンプライム	7.1	6.4	7.2	6.5	2.5	37.1
昨年同期	7.1	6.5	7.3	6.3	2.6	36.8

視聴率状況

2008年 年度平均視聴率 (2008/3/31-2008/7/20)

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	8.0	7.3	8.5	7.6	3.5	42.4
昨年同期	8.1	7.5	8.5	7.6	3.7	42.6
プライム	12.2	11.0	13.6	11.8	7.4	64.2
昨年同期	12.1	11.6	13.3	12.3	7.8	64.4
ゴールデン	12.1	11.1	13.6	10.9	7.8	65.6
昨年同期	12.0	11.7	13.3	11.4	8.3	65.4
ノンプライム	6.8	6.2	7.0	6.5	2.4	36.2
昨年同期	6.9	6.3	7.1	6.3	2.5	36.3

今後の主な映画ラインアップ

	タイトル	公開	配給	摘要
	それいけ！ アンパンマン	7月12日	東京テアトル メディアボックス	映画 & テレビ20年記念作品、 開局55年記念作品。「妖精リンリンのひみつ」
	崖の上のポニョ	7月19日	東宝	スタジオジブリ 宮崎駿監督の最新作
共同幹事	スカイ・クロラ	8月2日	ワーナー・ ブラザース	開局55年記念作品。 押井守監督の最新アニメ大作
幹事作品	20世紀少年	8月30日	東宝	開局55年記念作品。 浦沢直樹原作の人気コミックの実写映画 3部作の第1章
幹事作品	252—生存者あり	12月6日 予定	ワーナー ブラザース	開局55年記念作品。監督は 「舞妓Haaaan!!!」の水田伸生(NTV社員)
幹事作品	K-20 怪人二十面相・伝	12月予定	東宝	開局55年記念作品。 「三丁目の夕日」のスタッフによるアクション映画
幹事作品	20世紀少年 (第2章)	2009年 1月31日	東宝	開局55年記念作品。 3部作にわたる壮大な物語の第2章
共同幹事	ヤッターマン	3月予定	日活 松竹	伝説のアニメの実写版映画

55

The logo is composed of several blue geometric elements. On the left is a square frame with a solid black circle in the center. To its right are three horizontal bars of varying lengths, stacked vertically. Further right is a vertical bar on the left and a small square on the right, also stacked vertically. To the right of these elements is the number '55' in a bold, black, sans-serif font.